

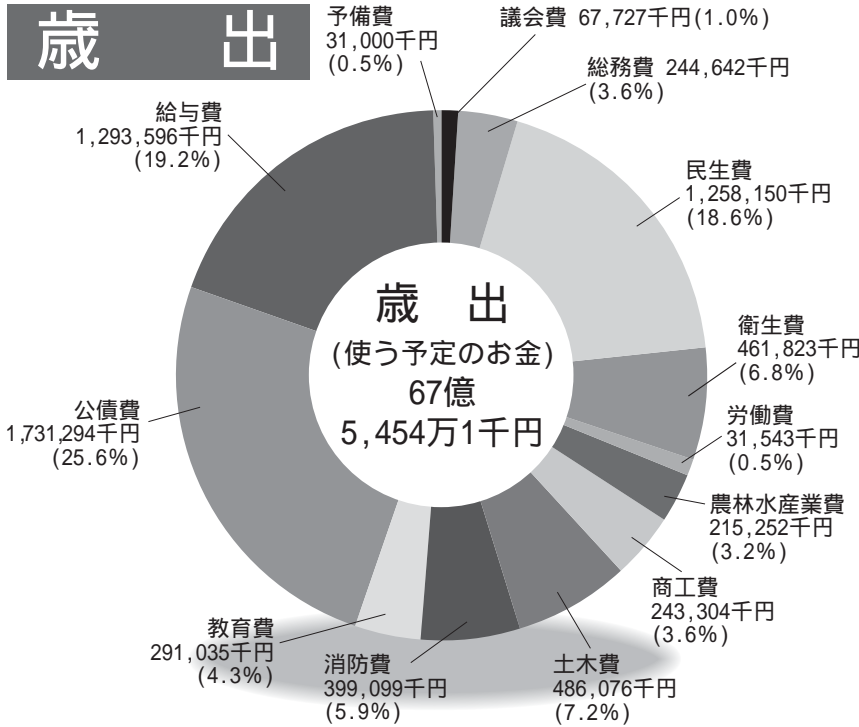
平成22年度

特集

まちの予算



歳出



106億3,925万円で、前年

平成22年第1回洞爺湖町議会定例会が3月4日から16日まで開催され、平成22年度当初予算が可決されました。

本年は、4月22日任期満了に伴う町長選挙の年であることから、予算編成は、骨格予算となり、継続事業を中心とした内容となっています。

本年度予算の概要を紹介します。

一般会計

一般会計予算は、67億5,454万円で、前年度予算額66億4,981万円に比べ1.6%の増となりました。歳入における町税

地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方交付税等を合わせた経常一般財源は、

度予算額106億1,352万円に比べ0.2%の増となりました。町税は、長引く景気の低迷から減収を見込み、歳出では、公債費の償還がピークを越えるものの、未だ多額で推移していることから、前年度と同様歳入不足により厳しい財源対策を余儀なくされました。

このため、財政健全化計画による人件費をはじめとする義務的経費の削減、受益者負担の適正化、事務事業の見直しなどにより財源の確保を図り、現行の行政サービスを維持しつつ事務事業の重点選別と財源の重点配分となっています。

また、骨格予算として編成していますが、年度当初から町民サービス、産業振興対策、雇用対策に必要な経費を盛り込んだ内容となっています。

町税の減などが影響し、前年度比0.9%の減となりました。

一方、歳入における人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費は、人件費と公債費の減が主な要因となり、前年度比1.1%の減となりました。投資的経費(普通建設事業)については、前年度比56.6%増となり、洞爺水の駅周辺地区整備事業、虹田漁港(大磯分区)整備事業、森林再生事業などの予算を計上しています。

歳入不足を補てんする(埋める)ため財政調整基金を、また各事業に充てるため、洞爺地域ふれあい振興基金、観光開発基金などをそれぞれ取崩すこととしていますが、財政調整基金の取崩し額は、財政健全化計画より5,300万円少ない1億8,300万円となりました。

基金とは、家庭に置き換えると貯金のこと。洞爺湖町には、財政調整基金や減債基金のように、歳入不足を補てんするためのものや洞爺地域ふれあい振興基金などのように、特定の歳入をもって特定の目的のために積立てられた基金(貯金)がある。